

# 議会のトピックス



## 議会報告会を開催

### TOPICS

常任委員会報告

委員会代表質問

議員一般質問

表紙写真「不夜城 大王製紙」(撮影場所：土田  
原 裕昭さん (みずきヶ丘)撮影  
※表紙の作品募集中 (詳しくは裏面へ)



# 貴重なご意見をいただきました

各常任委員会で議会報告会を開催



①



③



②

①建設市民委員会は3グループで賑やかに  
③総務企画委員会は2グループで熱く語りました

②教育福祉委員会は車座で皆さんの意見を共有

令和4年秋の議会報告会は各常任委員会で対面を基本に、Zoomでの参加にも対応し開催しました。今回はその様子をお伝えします。

可児市議会では、広く市民の意見を聴くために議会報告会を定期的に開催しており、新型コロナウイルス感染症の拡大後はZoomを利用するなど開催方法を工夫してきました。

今回は対面を基本に、Zoom希望者はオンラインで参加していただきました。各常任委員会でテーマを決めて参加者を募集したところ、多くの方に参加していただき、様々な視点でのご意見をいただきました。

## 11/7 可児市の魅力 発信について

総務企画委員会主催の議会報告会は、可児青年会議所のメンバーを中心とした12人と議員8人が参加しました。

この日の意見交換のテーマは「可児市の魅力発信について」で、情報発信やマーケティングの重要性などについて話し合いました。



私はこう考えます

(いただいた意見の一部)

例えば可児市の魅力を「戦国の歴史、ゴルフ場の多さ、住みやすさ」とするならば、それぞれの項目に興味を持っている人に情報を届けることが重要ではないか。

情報発信はしっかりマーケティングをして行うことが大切で、官民の協力も必要ではないか。

ばら教室KAN-1の取り組みなど誇れるものがある。AIの映像制作システムを利用して映画を作ってはどうか。

11/18

保護者から見た  
学校・教育の課題

教育福祉委員会主催の議会報告会は、PTA関係者を中心とした9人と議員10人が参加しました。

この日の意見交換のテーマは「保護者から見た学校・教育の課題」で、PTA活動や不登校に関することなどについて話し合いました。

私はこう考えます

(いただいた意見の一部)

- PTA不要論や会員離れの問題がある。他の市民活動にも通じるが、「なぜこの活動をやる必要があるのか」や組織のあり方などを考える時期に来ているのでは。
- 不登校の悩みを持つ親子の居場所づくりをしている。施設利用料の減免や空き家の活用など行政に協力してもらえればと思う。

子どもが自閉症でトラブルがあり悩んだ時期もあった。このような話し合える場や、同じ経験をした人が集まる場があったら救いになると思う。



11/20

外国籍の人の  
まなぶ・はたらく  
を考えよう

建設市民委員会主催の議会報告会は、外国籍市民を中心とした16人と議員10人が参加しました。

この日の意見交換のテーマは「外国籍の人のまなぶ・はたらく」を考えよう」で、自身の経験から多様な意見や生の声を率直に伺うことができました。

私はこう考えます

(いただいた意見の一部)

- 進学する高校や就職先の選択肢が少ない。
- 語学教育(母国語・日本語)や夜間中学の設置が重要である。
- 通勤手段がなく、送迎がないと通勤できないため、派遣の選択肢しかない。
- 日系の外国籍の人とそうでない外国籍の人では価値観や文化を理解するスピードが異なるが、日本人は同一視しがちである。

各日とも、議会からの報告として、伊藤壽予算決算委員長が、令和3年度の決算の概要と、議会からの次年度予算編成に向けた提言などについて参加者にお伝えしました。



参加してみてどうでしたか？

今回いただいた意見をそれぞれの委員会活動等に生かしていきます。また、可児市議会では市民との対話を積極的に行えるよう今後も開催方法を検討してまいります。

参加してくださった皆さん、ありがとうございました。

議員と直接話せてよかった。

初めて参加しましたが、様々な考え方があると分かり勉強になりました。

ぜひ今後も続けてほしい。

時間が短かった。もっと深く意見交流したかった。

議会報告会が行われているのを今まで知らなかった。若い世代が知ることができるとうい。

また参加してね

ありがとう



# 常任委員会報告

〔第7回定例会での議案審査の概要など各委員会の活動を紹介します〕

## 予算決算委員会

令和4年度一般会計補正予算及び下水道事業会計補正予算について審査しました。

### 一般会計 補正予算

#### ◆質問と回答◆

**Q** マイナポイント手続サポート業務委託の内容は。

**A** 庁内サポートだけでなく地区センター、大型商業施設に出張サポートするものである。また、現在の庁内サポート窓口は60〜90分待ちとなる状況のため、委託人数を増やしてこれらを解消するものである。

**Q** 認可外保育施設の施設等利用費が増加した理由は。

**A** コロナ禍の影響で減少傾向

にあった外国籍市民の人口が令和4年度から増加し、その影響で認可外保育施設に通う児童が増加したため。

**Q** 学校給食センター改修工事の内容及びその効果は。

**A** 空調設備の耐用年数が経過しているため、熱のこもる洗淨室の空調を更新し、良好な職場環境を維持するものである。

**Q** 可燃ごみ袋作成にあたり2次元バーコードをつけたり、デザイン変更はあるのか。

**A** 令和5年1月から開始予定のごみの分別アプリにつながる2次元バーコードを印刷するなど検討していく。

#### ◆討論の内容◆

**反対** 取得が強制ではないマイナンバーカードの利用を前

提とした医療扶助オンライン資格確認導入事業は、生活保護者に限らず、医療の制限や個人情報流出につながる恐れがあるため反対。

## 総務企画委員会

条例の制定1件、条例の一部改正5件について審査しました。

### 職員の定年年齢を段階的に引き上げ

地方公務員法等の一部改正に伴い、関係条例の整備に関する条例が制定されます。現行の定年年齢60歳を令和5年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げ10年後に65歳とするものです。

#### ◆質問と回答◆

**Q** 定年延長に伴う審査はなく保障されるということか。

**A** 引き上げられた定年に達するまで自動的に勤務できるということである。

### 市の組織再編

部設置条例を一部改正し、市民の視点に立った行財政改革に取り組み、効果的で持続可能な市政運営を目指すため、令和5年度から市の組織の統廃合を行うものです。

#### ◆質問と回答◆

**Q** 部の減少に伴い部長職等の数が減るが、全体として人件費に影響はあるか。

**A** 大きく変わらないが、職員数を抑制する場合には将来的に影響がある。

### 若手職員の給与を引き上げ

国家公務員の給与改定に準じ、職員の給与支給に関する条例を一部改正するものです。

大学卒の初任給を3千円、高校卒の初任給を4千円引き上げ、20歳代半ばから30歳代半ばの若手職員を中心に改定されます。



## 建設市民委員会

### 指定管理者の指定

市多文化共生センターの指定管理者に可児市国際交流協会を指定することについて審査しました。

#### ◆質問と回答◆

**Q** 指定管理者選定委員会の評価のうち、団体の安定性・信頼性の得点が他の項目に比べると低いのがどう捉えるか。

**A** 特定非営利活動法人という団体の性格上、財務や資産等の管理運営について、一般企業と比べると専門性は若干低い部分があるという印象による採点と思われる。行政としてもより一層、経営面や管理、体制的な面について働きかけや支援をしていく必要がある。

**Q** 指定管理料が今年度よりも増額となった理由は。

**A** 電気料金の高騰による光熱

水費の増、最低賃金の上昇に伴う人件費の増により百万円ほど増額を見込んでいる。

### ささゆりクリーンパーク等を視察

次期ごみ処理施設の建設を見据え、ごみ処理の現状や課題を把握するため、ささゆりクリーンパークを視察しました。また、大森の残土処分地や住宅開発現場の進捗状況を視察しました。



不燃ゴミ選別について話を聞く委員

## 教育福祉委員会

今定例会では議案の審査はありませんでしたが、不登校についての勉強会や教育委員との懇談会を行いました。

### 不登校や困り感を有する子ども達の支援について学ぶ

10月21日、明誠義塾高等学院の中島学院長を講師に招き勉強会を行いました。不登校児童生徒の現状や、通信制高校サポート校の学びなどについてお聞きし、誰もが自分らしくいられる「居場所」の大切さや、不登校児童生徒に対する行政のサポートの必要性について知識を深めました。

### 教育委員との懇談会

11月10日、教育委員との懇談会を行いました。コロナ禍における学校生活の影響、不登校の現状、ICT活用などについて

お話をうかがいました。



小中学校の現状と課題について懇談

### 委員会代表質問へ

勉強会や懇談会、議会報告会での意見をもとに、教育福祉委員会は委員会代表質問を行いました。（詳しくは7ページをご覧ください）



# 提出された議案等と審議結果

## 第6回臨時会

令和4年10月26日に第6回臨時会を会期1日で開催し、補正予算について審議しました。提出された議案は予算1件で、原案のとおり全会一致で可決されました。

番号	件名
議案 65	令和4年度一般会計補正予算(第6号)

## 第7回定例会

第7回定例会は、令和4年11月30日から12月20日の会期で開催されました。

提出された議案は、予算3件、条例6件、その他1件の合計10件でした。その他、委員会提案(発委)が1件あり、すべて原案のとおり可決されました。

### 【全会一致で可決された議案】

番号	件名	番号	件名
議案	67 令和4年度下水道事業会計補正予算(第2号)	議案	73 職員の給与支給に関する条例の一部改正
	68 部設置条例の一部改正		74 指定管理者の指定
	69 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正		75 令和4年度一般会計補正予算(第8号)
	70 地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	発委	2 医師の確保及び中濃二次医療圏に新たな救命救急センターの指定を求める意見書

※議案の詳しい内容については、議会ホームページまたは議会事務局窓口にてご覧いただけます。

### 【賛否が分かれた議案】

番号	件名	奥村	松尾	中野	高木	大平	渡辺	伊藤	勝野	板津	澤野	山田	川合	川上	天羽	酒井	野呂	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	林	
		新五	和樹	喜一	将延	伸二	仁美	壽	正規	博之	伸	喜弘	敏己	文浩	良明	正司	和久	一男	悟	健二	牧子	光	則夫	
議案	66 令和4年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
	71 市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	72 常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長(板津 博之)は採決に加わらない。

### 『医師の確保及び中濃二次医療圏に新たな救命救急センターの指定を求める意見書』について

可児市を含む可茂地域は、救命救急に係る医療圏では「中濃二次医療圏」に含まれており、県内5つの二次医療圏の中で人口・面積は上位ですが、人口10万人当たりの医師数は県平均を下回っています。また、患者の受け入れ体制などから、地域の病院に救急搬送できないケースもある状況です。そのため、可児市議会として、医師の確保と社会医療法人厚生会中部国際医療センターを三次救急医療機関(救命救急センター)に指定することについて、県知事に意見書を提出しました。

# 委員会代表質問

## 一般質問

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について市に対して質問を行いました。

このコーナーの紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

動画で一般質問等の様子をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



## 不登校に対する支援の充実を



川合 敏己 教育福祉委員長

### 【委員会代表質問】

**Q** 過去5年間における本市の小中学校の不登校児童生徒の状況は。

**A** 増加傾向で特に中学生の不登校者数の増加は著しい。令和3年度の全国の不登校者数の割合は2・57%だが、本市はこれ

を上回る3・26%である。その要因の一つに、コロナ禍における生活環境の変化や学校生活における様々な制限などが考えられるが、不登校の要因は複雑多様化しており、単純には分析できない。

必要な支援が適宜適切に行われているか

**Q** 初期対応や保護者に対しての情報提供などが適宜適切に行われているか。

**A** 初期対応では早期発見、早期対応を大切に、担任だけでなく、スクールカウンセラー、スクール相談員等と情報共有し、関係機関に繋げる時には教育相談コーディネーター担当が中心となるなど、チームで対応している。また、自立支援の取り組みの中心を担っているのは「スマイリンググループ」であるため、保護者に十分に周知していく。

市に求められる役割と今後の取り組みは

**Q** 今後、民間機関との連携や、公共施設を含めた居場所確保、さらなる情報提供などの支援が必要ではないか。

**A** 不登校児童生徒の状況に応

じた必要な支援を行うことや、安心して教育を受けられるよう学校の環境整備を行うことは市の責務である。

具体的にはPTAや子育て支援課等と連携した施策の充実、ホームページ等を活用した保護者との情報共有、よりよい認知を育むことを目的とした認知プログラム等の運用、タブレット活用や家庭訪問での見届けの充実、ワークショップ活動等アラーとの連携強化などの取り組みを今後進めていく。

	児童生徒数(計)			不登校者数(計)		
	小学校	中学校	合計	小学校	中学校	合計
H29	5479	2776	8255	27	75	102
H30	5498	2755	8253	39	108	147
R1	5526	2712	8238	41	130	171
R2	5497	2718	8215	61	128	189
R3	5452	2705	8157	89	177	266

増加する可児市の不登校児童生徒数



## 市長4期目に臨む所信は



かつの まさき  
勝野 正規

**Q** 4期目で取り組む重点施策及び可児市の目指す方向は

**A** 「住みごこち一番・可児」

をさらに具体的に市民が感じられるよう、今まで以上に取り組み組んでいく。また、直接市民の目に触れないが重要である上下水道管路などインフラの老朽化対応なども計画的に進めていく。(仮称)可児御嵩インターチェンジ工業団地についてもしっかりと企業誘致を進め、地域経済の活性化と良好な働く場の創出となるよう進めていく。

**インフラ整備を今後どう進めるか**

**Q** 地域要望をはじめとするインフラ整備に今後どのように取り組んでいくか。



本市の重点方針(市政経営計画より)

**A** 全てのインフラに対し個別施設計画を策定するとともに、コストの洗い出しなどにより効率的な維持管理に努める。一方、地域要望については国の補助事業など財源を確保しながら、計画的に行う補修とタイミングを逃さず速やかに行う補修のバランスや地域のバランスも考慮し、実施していく。

## 市長4期目の市政運営は



いとう ひさし  
伊藤 壽

**Q** 4期目の市政運営は、市の姿をどのように描き、どのような方針で行い、何を重点施策とし、推し進めるのか。

**A** これまでの市政運営で掲げてきた「住みごこち一番・可児」の実現を目指して、高齢者の安心づくり、子育て世代の安心づくり、地域・経済の元気づくり、まちの安全づくりの重点方針に基づく取り組みに全力を傾注していく。重点施策としては、インフラの老朽化への対応、新型コロナウイルス感染症対策、(仮称)可児御嵩インターチェンジ工業団地の企業誘致、ささゆりクリーンパークの後継施設検討を進める。また、住みごこちの良さをレベルアップするため、企業や各種団体などと連携し新たな魅力づくり

を進める。

を進める。

**外来植物ニワウルシの繁殖拡大防止に向けて**

**Q** 生態系や民家、公共インフラへの影響が懸念される「ニワウルシ」の駆除に向けた対応は。

**A** 国の生態系被害防止外来種リストに含まれているため、楽学講座や総合学習などでの啓発を継続するとともに、ホームページでも「ニワウルシ」も含めた外来種に対する考え方や対応を周知、啓発する。



巨木化したニワウルシ



## 公共施設の今後のあり方は



さわの しん じ  
澤野 しん 伸

**Q** 文化創造センター・アーラは完成から20年が経過した。

通常の維持管理に加え、大規模改修等に多額の予算が必要である。公共施設のあり方を見直す上でどう考えるか。

**A** 開館以来、文化芸術公演事業に多くの来場者を迎えただけでなく、市内小中学校や施設へのアウトリーチ活動等の取り組みや運営は、全国的にも高い評価を得るまでになった。文化を切り口とした本市の魅力づくりについて、市民に十分理解されているとは言いい切れないが、若い世代も含めた新たな魅力づくりをしていきたい。

### 不登校児童生徒の指導要録上の出席の扱いは

**Q** 不登校児童生徒の進学支

援と指導要録上の出席日数や評価への対応は。

**A** 不登校生徒を対象とした進路説明会を年に2回行っており、高校の先生方を招き、直接各校の特色を聞くとともに、個別懇談も行い進学に向けた不安や悩みの相談にも応じている。出席と出席扱いの評価算定は受験する各高校により判断されるので影響は分からない。



開館20周年の文化創造センター・アーラ

## 改正道路交通法に伴う取り組みは



おおひら しん じ  
大平 しん 伸

**Q** 改正道路交通法に伴う岐阜県自転車条例について、本市の小中学校の交通安全教育ではどのような取り組みをされているか。

**A** 令和3年12月に、県から「岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」案が示された。それを受け、本年度各校ではこれまでの交通安全教育に加え、必要となる交通安全教室の取り組みや啓発を行っている。本年10月からは、「自転車保険の加入義務化とヘルメット着用努力義務」が適用されたため、小学校では交通指導員を招くなどして指導している。中学校では、警察署交通課や自動車学校の講師を招いて、道路交通法の解説をしたり、夏休み前にタブレットを活用した

注意喚起を行った。リモートでの交通安全教育も実施している。

### ヘルメット購入等の助成制度の考えは

**Q** 市として改正法と県条例の促進に繋がる「ヘルメット購入」等の助成制度を創設する考えはあるか。

**A** 基本的に「自らの身は自ら守る」という方針で、現時点で助成は考えていない。自転車保険加入やヘルメット着用の啓発を続けていく。

み前にタブレットを活用した



県自転車条例のチラシ

## 市道27号線(大森・田白線)の早期整備は



おくむら 新五  
おきむら 新五

**Q** 大森新田交差点から大森大橋付近までの約3.2キロが、40年以上道路整備がなされていない。その理由は。

**A** 本市には26の都市計画道路が有り、6割が全線未改良となっている。本市の道路ネットワーク整備は、産業振興や渋滞緩和を図ることを目的に実施してきた。市道27号線は部分的に機会をとらえて順次整備してきた。

**Q** 新大森橋とそれに続く交差点は大変危険なため、大至急整備をする必要があるのでは。

**A** 交差点付近は通学路でもあり本路線と一緒に整備が必要な場所である。新大森橋の架け替えが必要のため、迂回路となる市道43号線や市道56号線の整備を先に実施した。



退避場所がない危険な交差点(大森)

次期市政経営計画への盛り込みは

**Q** 次期の市政経営計画へは市道27号線の道路改良事業を盛り込む必要があると考えますがどうか。

**A** 国の交付金を活用しながら実施して行く必要がある。優先順位は高いが、多額の費用と長い工期、地権者や沿線の方々の協力が必要であり、十分検討した上で判断したい。

## 空き家等対策の現状と今後の利活用は



あもう 良明  
あらい よしあき

**Q** 空き家・空き地バンク制度の登録要件の緩和により、具体的にはどのような効果を狙っているか。

**A** 1点目は、一定の条件のもと抵当権などの権利付物件の登録も認めること。2点目は、売買契約が成立することで相続登記が促進される場合もあり、全ての相続人の合意があることが確認できた場合、登録申込みを行う相続人を物件所有者として扱い、バンク登録が可能となった。

これらの見直しにより、バンク登録がスムーズに、物件の流通がスピーディーとなり、利活用が促進されることを期待している。

空き家解体に関する助成金制度の拡充を

**Q** 空き家等の利活用を促進するため、空き家・空き地活用促進事業助成金制度の予算拡充の考えは。

**A** 平成25年度以降、今年度10月末現在、累計で35件の住宅除却工事を助成した。

今年度は、210万円の予算に対して8件の申請があり、残額10万円という状況である。過年度の実績を踏まえ、予算の拡充に努めていく。



空地を駐車場等に活用した例(若葉台)



## リニア建設残土処分は 河川環境に安全か



伊藤 健二  
いとう けんじ

**Q** 御嵩町に計画されている

最終処分場問題で、何が地域住民の不安となっていると認識しているか。御嵩町で計画されている可児川上流域の

「重金属」要対策土の埋立処分場は、本市にとって新たな

リスクとならないか。大地震、大雨洪水等は気象の激甚化で

危険要因だ。大森川、可児川の水の安全対策は心配ないか。

**A** 御嵩町住民の不安は、要対策土の最終処分の安全性に

対するものであると理解する。可児川上流域の埋め立て処分

場は、下流域に位置する本市にとって新たな危険リスクに

なると捉えている。大森川の安全対策では、河川、周辺環境への影響を注視し、仮置場の契約を適正に履行実施させる。状況によってはJR東海

に対し、安全対策等を早めに要請し、市民の安心、安全を第一に適切に対応する。

消費税インボイス制度は  
延期・中止に

**Q** 水道事業等公営企業会計で、免税事業者の入札の扱いは。

**A** 免税事業者のインボイス制度登録を、競争入札の参加要件とはしない。仕入れ税額控除できない消費税は公営企業会計で負担する。



美しい可児川の流れをいつまでも

## 災害時の避難所運営



中野 喜一  
なかの きいち

**Q** 夜間や休日に大規模地震

が発生した場合、地区センター等の避難所施設の開設は、

施設職員、またはあらかじめ定められた職員とされている

がどのような職員か。

**A** 職員防災活動体制を定め、

その中で各避難所対応職員として指定された職員である。

**Q** 災害発生直後は職員や自治会長、自主防災組織が中心

となり避難所を運営するが、周知はされているか。

**A** 防災訓練において、自治連合会や自治会に対し、各地区センターで実施する避難所訓練への参加を促し、避難所の自主運営の在り方についての啓発に取り組んでいる。

どのような組織か。

**A** 「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚と連帯感に基づき自主的に結成される組織で、日頃から地域内の安全点検や住民への防災知識の普及と啓発を行っている。

また、防災訓練の実施など災害による被害を予防・軽減

するための活動を行うとともに、初期消火、被災者救助、

避難誘導、情報収集等を行う非常に重要な組織である。

### 自主防災組織の役割は

**Q** 災害時の自主防災組織は



一次避難所でもある帷子地区センター

## 公営企業等の今後の在り方は



やまだ よしひろ  
山田 喜弘

**Q** 水道事業会計等の消費税納税義務がある会計において、令和5年10月インボイス制度

施行後、免税事業者との取引をどのように行っていくのか。

**A** 入札参加資格についてはインボイス発行事業者の登録を要件としない。今までと変わりなく適正な見積りを行い、その対価に対し消費税を支払う。控除できない消費税分の値引きを求めることはしない。

**Q** 農業集落排水事業の会計統合に伴い、下水道事業への影響は。

**A** 下水道事業の利益は減少見込みである。統合時点で使用料の見直しは考えていない。

生活道路の維持管理経費の確保を

**Q** 住宅団地を含め、道路の

修繕や維持管理にどのように取り組んでいくのか。

**A** 道路の維持管理には、大変危機感を持っている。議会の提言を受け、地方債を活用しながら、舗装補修のペースアップを図るよう検討している。全ての道路について、予防保全で対応することはできないため、予防保全と事後保全を組み合わせ対応して行く。事後保全では、市民からの通報により対応している。



塩河にある農業集落排水処理施設

## 旧統一協会及び関連団体とのかわりは



とみだ まきこ  
富田 牧子

**Q** 岐阜県では40市町村が旧統一協会（世界平和統一家庭連合）の関連団体が主催する

「ピースロード」を後援していた。本市も後援していたが、そのいきさつは。後援取り消しは行わないのか。

**A** 令和3年度に主催者から後援申請があった。その後、市議会議員を通じて主催関係者の表敬訪問の申し出があり、市長が面談をした。イベント開催時には市長があいさつを行った。令和4年度も同様だったが、後援の取り消しは考えていない。

带状疱疹ワクチン接種に補助を

**Q** 日本人成人の90%以上は带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜んでいて、80歳

までに3人に一人が発症するといわれている。50歳以上の人はワクチン接種で带状疱疹が予防できるので、肺炎球菌のように補助ができないか。

**A** 带状疱疹ワクチンは、現在、予防接種法に基づく定期予防接種には位置づけられておらず、任意の予防接種となっている。国においては、定期予防接種として追加するワクチンの一つとして、検討が進められている段階であるため、国の動向を注視していく。



予防接種の様子  
(健康増進課提供)



※高木将延議員は、令和4年10月23日に行われた可児市議会議員補欠選挙で当選されました。

## 新型コロナウイルス感染症 第8波への対策は



たか ぎ 高木 将延

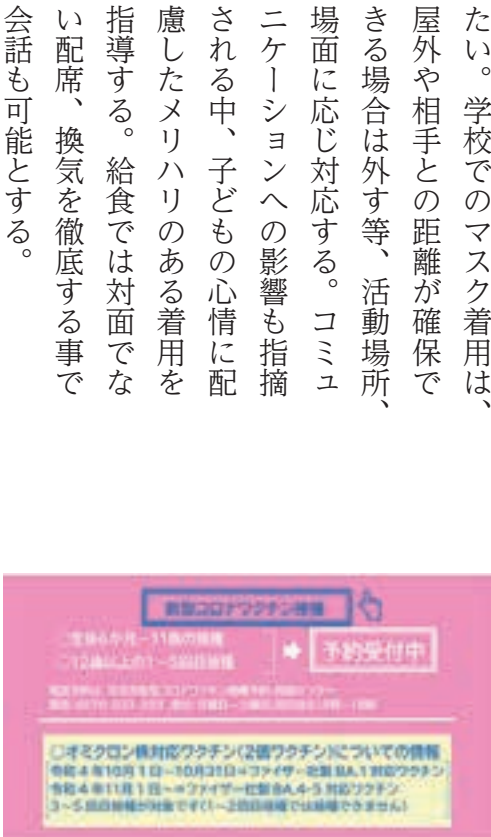
**Q** 第7波以降、若年層での感染拡大がみられる。行動制限は行わないとする中で、子どもたちへの対策は。

**A** ワクチン接種率は、接種開始時期の違いもあり、若年層が低い状況だが、オミクロン株対応ワクチンに切り替わり、接種も増えている。接種率が伸び悩むようであれば、保護者への説明機会も検討したい。学校でのマスク着用は、屋外や相手との距離が確保できる場合は外す等、活動場所、場面に応じ対応する。コミュニケーションセッションへの影響も指摘される中、子どもの心情に配慮したメリハリのある着用を指導する。給食では対面でない配席、換気を徹底する事で会話も可能とする。

### 積極的な情報発信を

**Q** 市が行う感染対策等の情報を効果的に伝えていく方法は。

**A** 市ホームページ、SNS、すぐメール等を通じて、三密回避、手指衛生、効果的な換気等の基本的感染防止対策、ワクチン接種の積極的な検討を継続してお願いしていく。



市ホームページでのワクチン接種啓発

## 使用済紙おむつの 再生利用等の検討は



の ろ かつ ひ さ 野呂 和久

**Q** 高齢化の進展で、大人用紙おむつの需要が増加している。国土交通省は、紙おむつの下水道処理のための検討会を設置し、令和4年度中にガイドラインを示すとしている。また環境省は、令和2年3月に使用済紙おむつの再生利用等に関するガイドラインを策定した。使用済紙おむつの再生利用（リサイクル）について、本市ではこれまで検討はなされてきたのか。

**A** これまで具体的な検討はしていない。今後、研究していく課題と考えている。

### 次期一般廃棄物処理基本計画への対応は

**Q** 本市の高齢化率は、近年約0.5%ずつ増加し、令和7年には30%を超える可能性もある。使用済紙おむつの再生利用等について調査・研究のうえ、次期一般廃棄物処理基本計画に盛り込む考えはないか。

**A** 現在の市一般廃棄物処理基本計画の計画期間は令和7年度までとなっている。次期計画の策定では、使用済紙おむつの再生利用等も含め、プラスチック系ごみの分別収集やリサイクルの推進、食品ロスの削減等、様々な課題について検討していく。



紙おむつ回収ボックスの例  
(環境省ホームページより)

## 伝わる広報とは

**Q** 本市ホームページは令和3年度に改修業務委託料446万4900円でリニューアルされた。どのような観点で見やすく、効果的な情報発信となっているか。

**A** 主に4つの観点から取り組みを行った。1点目は、トップ画面のデザインをシンプルにすることで視認性の向上を図っている。2点目は、お役立ちリンクやメインメニューを配置することで検索機能の強化を図っている。3点目は、できる限りクリック数を減らすために階層の見直しを図っている。4点目は、スマートフォンから見ることを考慮したデザインとしている。新型コロナウイルスに関する情報は、専用窓を設置しスマートフォン画面では最前面に配置



まつお かずき  
松尾 和樹

することで、アクセスの向上を狙っている。見やすく効果的な情報発信ができるよう今後も必要な改善を行う。

### 時代の変化に順応した広報を

**Q** シティプロモーションに動画の活用は進んでいるか。

**A** 本市の魅力などを対外的にも伝えるために動画の活用に取り組んでいる。今後也十分研究をしていく必要がある。



可児市公式YouTube動画より

## 戦国歴史資産のさらなる発掘を

**Q** 本能寺の変の3カ月ほど前、織田信長が武田征伐に向かう途中、美濃金山城に泊まり、その折に座ったと伝承される岩が兼山にある。また、森長可や妙向尼など、歴史上特筆すべき人物もいる。こうした歴史資産に光をあて、観光や郷土愛につなげていくべきでは。

**A** 「信長の休み石」については、看板の修復やルートのも再設定も含め、ガイドブックなどで紹介する。また、これを機会に市内の案内看板を、より分かりやすく、関心を持てるような形で、統一した整備をしていきたい。

### 可児工業団地の街路樹伐採

**Q** 可児工業団地内の市道のケヤキの街路樹160本を皆



やまね かずお  
山根 一男

伐する方針だと確認している。どのように進めるのか。「可児市ゼロカーボンシティ宣言」と矛盾しないか。

**A** ケヤキは巨木化しており、根上がりによる舗装の損傷や貨物車両との接触など支障が出ている。安心・安全を最優先するため、街路樹は皆伐・伐根する。ゼロカーボンへの影響は少ないと考える。

### その他の質問

『本市における太陽光発電の現状と課題』



1582年3月信長が腰掛けたとされる岩



## 小中学生への起業応援 プログラムの創設を

**Q** 学校以外の場で、小中学生が未来の夢を語り、将来なりたい自分のイメージを描けるような、起業、金融経済、組織運営、経営理念などを学ぶ機会の創設は可能か。

**A** 本市では、主に高校生を対象に、市内の企業を知ってもらう機会を創出してきたが、小中学生を対象とした、社会経済や企業に関連する講座等の実施はない。「かにNPOフェスタ」、「産業フェア」などのイベントや、市内事業所の紹介動画などを小中学生や保護者にも周知し、職業体験や職業について知る機会の提供をしていきたい。

### 特殊詐欺被害防止のための啓発活動は

**Q** 本市における、特殊詐欺

による被害の状況は。

**A** 令和4年は10月末時点で被害認知件数が8件、被害金額は5534万円である。

**Q** 詐欺被害防止のための啓発活動は行われているか。

**A** 地域安全指導員などによるATMコーナーでの啓発活動や、民生委員児童委員による高齢者宅訪問時のチラシ配布など、各団体の協力を得ながら実施している。



わたなべ ひとみ  
渡辺 仁美



ATMコーナー前での啓発活動



## 可児市議会公式Instagram始めました!



可児市議会はホームページやFacebookに加えて新たにInstagramでの情報発信をはじめました。議会の取り組みなどの情報を積極的に投稿していきます。



読み取って  
フォローしてね

# チョットおじゃまして

今回は、川合議員と松尾議員が帝京大学可児高等学校サッカー部(以下:帝京大可児サッカー部)の練習におじゃまして、監督の仲井正剛さんとチームキャプテンで3年生の原田逸希さんにお話を伺いました。  
 ※文中で広報委員は(広)、仲井監督は(仲)、原田さんは(原)としています。

広: この度は岐阜県大会優勝、全国大会出場誠にありがとうございます。(取材は令和4年11月)  
 監督がチームに伝えてきたことは何ですか。  
 仲: 技術面では、継承されてきたボールを大事にするサッカーからレベルアップして相手の逆を取りながら前進するサッカーを目指しています。精神面は特に重視し、「チームを代表する選手としてピッチに立った者は、試合に出られない多くの部員たちの思いを背負っている」ということを強く自覚して戦いに臨むようにと伝えてきました。  
 広: 部員達に何を学んで、どんな大人になってほしいと考えておられますか。  
 仲: 考える習慣をつける事です。サッカーだけでなく、普段の生活から常に考える習慣があれば自ずと今やらなければならない事を判断できる大人になれると思います。



4年連続9度目の全国高等学校サッカー選手権大会出場

広: この高校に入学した理由は。  
 原: ボールを繋げるサッカーが特徴的だったのと、全国大会出場回数多かったです。  
 広: 将来の目標は何ですか。  
 原: スポーツに関わっていきたいです。また、スパイクが好きなので、スパイクに関する仕事に興味があります。  
 広: 帝京大可児サッカー部の魅力は何ですか。  
 原: 見ていて楽しいサッカーです。実際にやっているととても楽しいです。  
 広: サッカーを通じて学んだ事はなんですか。  
 原: 立場の違う仲間のことを考え、支えてもらっている方々に対し常に感謝の気持ちを持ちながらプレーすることです。



111人の部員を指導する 練習風景(手前右が原田キャプテン) 仲井正剛監督

令和5年第1回定例会のお知らせ	
2月	
28日	開会日(議案説明) 予算決算委員会
3月	
1日	予算決算委員会
9日	一般質問・議案質疑
10日	
14日	予算決算委員会・総務企画委員会
15日	予算決算委員会・建設市民委員会
16日	予算決算委員会・教育福祉委員会
17日	予算決算委員会
24日	閉会日(委員長報告・討論・採決)
※会議は午前9時開会の予定です。	
※日程は、都合により変更する場合があります。	

**【取材を終えて】**  
 仲井監督の伝えたいことを原田キャプテンがしっかり語ってくれたことに帝京大可児サッカー部の強さを感じました。サッカーを通じて立派な若者を育成されている仲井監督に感謝です。

**表紙の** 今回の表紙に応募していただいたのは、最近流行している「工場夜景」の写真です。  
**原さんのコメント**  
 「昼間とは違う表情を見せる工場。工場夜景に魅せられ、地元にもそういえばと思い撮影をしてみると、他県に勝るとも劣らない姿が。」

表紙の写真やイラストを募集中!  
 詳しくは可児市議会のホームページへ。